

札幌太田病院 看護部理念

札幌太田病院の基本理念に基づき、看護部としての果たすべき機能^{やくわり}をよく理解し、奉仕の精神と看護の心をもって常に患者さまの立場に立ち看護を実践する。

看護部理念の3本柱

- ・患者さまの個別性を尊重した全人格的なかわり
- ・基本的人権の尊重
- ・精神保健の向上

〔方針として〕

- 1．病院の理念である「患者さまの幸福な人生のために」看護者として、患者さまが1日でも早く状態が安定し、自信を回復し、地域社会で定着した生活が送れるように毎日の看護を実践する。
- 2．患者さまの長所^ほをみつけて褒め、可能性を伸ばすようにかかわり、自然治癒力が高まるように看護を実践する。
- 3．専門職として、精神看護の本質を追求し、さらに十段階心理療法を熟知し、創造的かつ主体的な看護を展開し、早期社会復帰に向けた支援を実践する。
- 4．看護部は、札幌太田病院医療チームとしての役割と責任を達成するために、医師および他部門と信頼関係をもって協働し、安全を配慮したより良い医療提供に努める。
- 5．一人ひとりの患者さまが安心して治療を受けられ満足されるよう、心温かい豊かな接遇マナーをもって看護サービスを提供する。
- 6．看護にたずさわる職員の能力を有効に発揮できるように、その能力を正当に評価・支援し病院の目指す医療を遂行する。
- 7．終末期医療を行うにあたって、尊厳ある個別な看護を実践する。

看護部教育理念

患者さま中心の精神看護の追求と、看護の質の向上を目指して、看護者一人ひとりの知識・技術・態度の習得、そして人間性の向上を図る。

〔具体的方針〕

1. 看護職員の院内外教育を対象者別教育プログラム（新人・経年者）にそって実施する。
2. 個人の学習の動機づけ、意識づけを行い看護職員一人ひとりの能力（知識、技術、態度）の向上を図る。
3. 人間としての成長と精神看護の専門職としての能力が十分に発揮できように英知を養い、豊かな心と創造力をもって看護の本質を追究する。

〔教育目標〕

1. 看護・介護職のプロフェッショナルとしての能力と人間性の向上が図れるように、年間教育研修（能力開発）プログラムの充実を図る。
看護・介護の判断能力、個別性を尊重した計画能力、実践能力、評価能力、自ら向上する能力、接遇マナーの向上、以上の能力が養えるよう看護基準・手順との整合性を取り入れた教育プログラムを組み立て実施する。
2. 各看護職員が、各精神疾患の病態と看護援助技術の理解を深め、根拠に基づいた判断と患者の解決ニーズを捉えた看護展開が実践できるようにする。
統合失調症、躁鬱病、アディクション（アルコール症・薬物依存、摂食障害、リストカット、ギャンブル依存、ニコチン依存、燃え尽き、恋愛依存など）神経症、不安障害、思春期症例、心身症、人格障害、認知症など
その人らしさを理解し、意志を尊重する技術
症状アセスメントとマネジメント能力を育成する技術
セルフケアの拡大に関する技術
対人関係能力の強化に関する技術など
終末期における尊厳ある個別対応の技術
3. 十段階心理療法を具体的にマスターし、入院時から退院後の援助を組み立て適切な援助活動が実践できるようにする。
治療・看護計画の第1期～第3期の疾患別看護基準の理解をさらに深め、患者さま参加の看護過程を展開できるようにする。又個人情報保護法を理解し当院の方針に基づいた対応ができる
4. 看護研究に取り組み、学会に論文を発表し、自分たちの看護を振り返ると共に、第三者からの評価を受け、看護を研ぎ澄ます。